

大崎地区の研究のまとめ
「生活で活用できる力」の育成を目指して
～「つながり」を生かす指導の工夫～

大崎地区教育研究会技術・家庭科部会
研究部長

大崎市立鹿島台中学校 教諭 高橋 正芳

1 はじめに

昨年度まで大崎地区では、県の研究主題「生活で活用できる力」を育てる指導法の工夫～「つながり」を深める指導の工夫～をうけ、「生活で活用できる力」を育てるために、教材・教具の開発に取り組んできた。また、大崎地区においては2年前に大崎地区で開催された県大会の活動や成果を踏まえながら、家庭や地域の課題を授業の中に持ち込み、学習内容を実生活に生かせる学習内容「つながり」を意識し、技術分野では題材や教具の開発、家庭分野では言語活動の充実に力を入れながら研究を行ってきた。

2 研究のねらい

実際の地域や家庭生活での疑問や課題を授業に取り入れ、課題解決することにより、実際の地域や家庭での生活において、学んだ知識や技術を利用し、解決方法を考えることができるのではないかと。技術・家庭科では既習の学習内容について、単に学習として終わらせるのではなく、いかに実生活で活用し、よりよい生活を工夫し創造していくのが重要であり、実生活の場（地域、家庭や学校）を想定し、学校での学習内容との「つながり」を深めてやることで活用する力が身に付くと考えた。

3 研究の内容

(1) 研究の手立て

① 「つながり」を深める題材、教具の開発
家庭や地域の実情や課題を学校の学習の中に取り込んだ題材や教具を開発することにより、「つながり」を意識させる。

② 言語活動の充実

学習活動の中で、生徒の思考に深まりをもたせるために、学習内容に言語活動を関連付けて題材の指導計画を作成し、計画的に実施する。

③ 実践的・体験的な学習形態の工夫

実践的・体験的に学べる場面を多く配置し、生徒が興味や関心をもって学習できる場を設定する。

④ ワークシートの工夫

その時間に行った学習内容の記述だけではなく、思考の深まりの可視化し、振り返ることができるように工夫する。

(2) 研究の実践

① 夏季研修会「木材による製作実習」

日時 8月4日

会場 色麻町立色麻中学校

講師 高橋正芳教諭（鹿島台中学校）

技術分野A材料と加工に関するの内容で、一枚板を使用した木製品の製作実習が行われた。実生活で実際に活用できる木製品の作成を意識し、設計から、けがき、切断、切削、組立てと一通りの行程を行った。教員の技能向上の実技研修会の目的であったが、研修には小学校の教員も参加しており、小学校の学習内容との関連なども確認しながら研修を行うことができた。



図1 一枚板を活用した木工製作品例



また、木材による板材による製作実習で実際に活用しているワークシートを準備し、言語活動を充実したものにできるようなワークシートの内容についても検討した。



図3 ワークシートの検討

②一斉演習日会「授業研究会・研修会」

日時 11月4日

会場 加美町立中新田中学校

授業者 和賀玲未教諭（中新田中学校）

布を用いた物の製作という題材で模擬授業を行った。中学校の学習に小学校教員が参加することで、小学校の学習内容を確認することや中学校で指導する際の参考になるところがたくさんあり、その後の授業検討会においても課題の提示の仕方や学習カード等、学び合いを促す言語活動の工夫として学習形態についても活発な意見交換が行われた。また、どの学校においても取り入れている基礎縫いの内容であったため、教材研究の面でも有益だった。



図3 模擬授業の様子



図4 模擬授業後の検討会

4 研究のまとめ

大崎地区では今年度も家庭や地域の実情や課題を学習の中に取り込むことにより、より学習内容が実生活の中で生かされるのではないかと取り組んできた。特に小中合同で行われる授業検討会の際に他校種の教員と意見を重ねたことで、学習内容と実生活の「つながり」だけではなく、小学校の学習内容との継続性についても考えることができ、小学校等との学習内容の「つながり」などについても改めて考えることができた。また、言語活動を展開させる中で、自分の考えを整理したり、深めたりするワークシートが重要であることを再確認し、内容を深めることができた。

今後の課題は、より効果的に言語活動を取り入れるために指導計画を工夫することや思考の深まりを見取れるワークシートの工夫。また、学習内容を実生活に生かすことのできる題材や教具が開発を大崎地区で協力して取り組んでいきたい。